

**ユニオン クイックメント（張付用）**

**壁タイル張り施工要領書**

**二瀬窯業株式会社**

# エポック クイックメント（張付用） 壁タイル張り施工要領書

## 1. 適用範囲

本要領書は、速硬化型タイル張付材であるエポッククイックメント（張付用）を使用し、タイルを張り付ける壁タイル張り替え工事に適用する。1 時間後には硬化し、目地詰め施工が可能な速硬化型タイプなので、主に夜間改修工事などの緊急工事に適用する。

## 2. 適用タイル

50角・50二丁のユニットタイル  
小口平タイル(12mm 厚以下)

## 3. タイル張り工法の種類

- a. モザイクタイル張り工法
- b. マスク張り工法
- c. 密着張り工法
- d. 改良圧着張り工法

## 4. 施工上の注意事項

- ・ 温度状況により多少可使時間・硬化時間が変わってくるため注意する。  
（可使時間 夏期 20分 冬期 40分）
- ・ タイルの裏足がほとんど無く、接着力不足が懸念される場合は改良圧着張りとする。
- ・ ブリックタイルなど、吸水の多いタイルを使用する場合には、タイルの張付け面に吸水調整を行う。  
（ユニレックス3・5倍希釈液使用）

## **5. 施工方法**

### **■前工程**

#### ①下地の処理

ぜい弱部は除去しておく。

ひび割れ部はひび割れ幅 0.2mm 以上の場合には、エポキシ樹脂注入工法、U カットシール材充填工法など適切な補修方法に従い補修する。

#### ②下地の清掃

コンクリート、モルタルなどの張付け下地面を清掃する。

#### ③不陸調整

著しい不陸がある場合は、前もって不陸調整を行う。

#### ④下地の吸水調整

清掃した下地となるコンクリート及びモルタル面に水湿し、又はユニレックス 3 を水道水で 5 倍に希釈したものを塗布する。

ユニレックス 3 ・ 5 倍希釈液を塗布する場合は、乾燥後にタイル張りを行う。

(ユニレックス 3 ・ 5 倍希釈液塗布量 150g/m<sup>2</sup>)

※ブリックタイルなどの吸水の多いタイルを使用する場合はタイル張付け面にも吸水調整を行う。

## ■タイル張り

### a. モザイクタイル張り工法

① 練り混ぜ

エポクイックメント（張付用）に水道水を加え、ハンドミキサーなどにより約3分間攪拌する。

調 合 

エポクイックメント（張付用）	20kg
----------------	------

 + 

水道水	約4ℓ
-----	-----

張付けモルタルは練り混ぜから施工完了まで30分以内に使用する。

弊社で指定したもの以外は混入してはならない。練り返し時には加水してはならない。

<b>可使時間</b>	<b>30分</b>
-------------	------------

② 張付けモルタルを下地表面にコテ圧をかけて1～2mm 下こすりを行う。続けて張付けモルタルを塗り付け、全体の厚みが3～5mm になるようにむらなく平坦にする。

③ 張付けモルタルの塗り付け面積は、1回につき3m<sup>2</sup>を標準とし、15分以内にタイル張りを終了する面積とする。

<b>塗り置き時間</b>	<b>15分</b>
---------------	------------

④ 張付けはユニットタイルを張り付けモルタルに押しつけ、たたき板などで張付けモルタルが目地部に盛り上がるまでたたき押さえて張り付ける。

⑤ タイル張り作業中、適宜タイルを剥がして、接着状況を確認する。

⑥ ユニットタイルは張付け後、モルタルの硬化を見計らって水湿しを行い、表紙を剥がしてタイルの配列を調整する。この時、修正を加えたタイルは再度入念にたたき押さえる。

⑦ 表紙を剥がした後、目地部にはみ出したモルタルを取り除く。

## b. マスク張り工法

### ① 練り混ぜ

ユニックメント（張付用）に水道水を加え、ハンドミキサーなどにより約3分間攪拌する。

調 合 

ユニックメント（張付用） 20kg
-------------------

 + 

水道水 約4ℓ
---------

張付けモルタルは練り混ぜから施工完了まで30分以内に使用する。

弊社で指定したもの以外は混入してはならない。練り返し時には加水してはならない。

<b>可使時間</b>	<b>30分</b>
-------------	------------

- ② 張付けモルタルを下地表面にコテ圧をかけて1～2mm下こすりを行う。
- ③ 下こすりの硬化の程度を見計らいモザイクタイルの裏面に適合したマスクをかぶせ、張付けモルタルを金ゴテで3～4mmに塗り付けた後、マスクを除去して直ちに張付ける。
- ④ 張付けはユニットタイルを張付けモルタルに押しつけ、たたき板などで張付けモルタルが目地部に盛り上がるまでたたき押さえて張付ける。
- ⑤ タイル張り作業中、適宜タイルを剥がして、接着状況を確認する。
- ⑥ ユニットタイルは張付け後、モルタルの硬化を見計らって水湿しを行い、表紙を剥がしてタイルの配列を調整する。この時、修正を加えたタイルは再度入念にたたき押さえる。
- ⑦ タイル張付け後、モルタルの硬化の程度を見計らい、目地部にはみ出したモルタルを取り除く。

## c. 密着張り工法

### ① 練り混ぜ

エポックメント（張付用）に水道水を加え、ハンドミキサーなどにより約3分間攪拌する。

調 合    

エポックメント（張付用） 20kg
-------------------

    +    

水道水 約4ℓ
---------

張付けモルタルは練り混ぜから施工完了まで30分以内に使用する。

弊社で指定したもの以外は混入してはならない。練り返し時には加水してはならない。

<b>可使時間</b>	<b>30分</b>
-------------	------------

- ② 張付けモルタルを下地表面にコテ圧をかけて1～3mm 下こすりを行う。続けて張付けモルタルを塗り付け、全体の厚みが5～8mmになるようにむらなく平坦にする。
- ③ 張付けモルタルの塗り付け面積は、1回につき2m<sup>2</sup>を標準とし、15分以内にタイル張りを終了する面積とする。

<b>塗り置き時間</b>	<b>15分</b>
---------------	------------

- ④ タイルの張付けは、タイル張り用振動工具を用いて、タイルを一枚ずつタイル周辺からタイル厚の約半分以上がモルタルに埋まるまで押さえ込む。この時タイルは一段ずつ張り進めるものとする。
- ⑤ 役物タイルの引き金物は、モルタル中に埋設するか、または躯体に結びつける。
- ⑥ タイル張り作業中、適宜タイルを剥がして、接着状況を確認する。
- ⑦ タイルの配列の修正は速やかに行い、修正を加えたタイルは、再度振動工具で入念に押さえ込む。
- ⑧ 目地部からはみ出したモルタルを、目地詰め支障にならない程度に除去しておく。

#### d. 改良圧着張り

##### ① 練り混ぜ

エポックメント（張付用）に水道水を加え、ハンドミキサーなどにより約3分間攪拌する。

調 合 

エポックメント（張付用） 20kg
-------------------

 + 

水道水 約 4ℓ
----------

張付けモルタルは練り混ぜから施工完了まで30分以内に使用する。

弊社で指定したものを以外は混入してはならない。練り返し時には加水してはならない。

<b>可使時間</b>	<b>30分</b>
-------------	------------

- ② 張り付けモルタルを下地表面にコテ圧をかけて1～3mm 下こすりを行う。続けて張り付けモルタルを塗り付け、全体の厚みが4～6mmになるようにむらなく平坦にする。なお、この塗り置き時間は15分以内とする。

<b>塗り置き時間</b>	<b>15分</b>
---------------	------------

- ③ タイル裏面全体に、張り付けモルタルを1～3mm 程度載せて平らにならし、タイル用ハンマーやレンガこての柄、振動工具などを用いて張り付け、タイル厚の約半分以上がモルタルに埋まるまで押さえる。
- ④ 役物タイルの引き金物は、モルタル中に埋設するか、または躯体に結びつける。
- ⑤ タイル張り作業中、適宜タイルを剥がして、接着状況を確認する。
- ⑥ タイルの配列の修正は速やかに行い、修正を加えたタイルは、再度入念にたたき押さえる。
- ⑦ タイル張り付け後、モルタルの硬化の程度を見計らい、目地部にはみ出したモルタルを取り除く。

## 6. 養生

1 時間以上養生後、目地詰め施工を行う。

硬化時間	60 分
------	------

### ■ 注意事項

- ・ 材料の保存は、地面や床へ直置きしないようパレットなど使用して湿気を避け直射日光や雨掛かりのないようにシート掛けなどを行う。
- ・ 降雨・降雪時の施工は行わない。
- ・ 気温が3℃以下および3℃以下になると予想される場合は、施工を行わない。
- ・ 使用有効期限は製造日より3ヶ月とする。特殊材料を使用しているため開封後は全て使いきるようにする。保存する場合は、ビニール袋などに入れ密封し、1ヶ月以内に使用する。